

皆さん、おはようございます。

令和2年、2020年が始まりました。

今年は、東京オリンピック・パラリンピック開催の年です。皆さんにとって、この2020年は、東京オリパラ開催ということだけでもってしても、いつまでも記憶に残る年になることと思います。

私ごとですが、前回の1964年の東京オリンピックのとき、私は幼稚園児でしたが、姫路の街中を走る聖火リレーの一団に手を振っていた記憶があります。五つの輪、五輪の模様のセーターを着ていたこととかも断片的に覚えています。

ところで現在のJOC、日本オリンピック委員会の会長、柔道家の山下泰裕さんのことは知っていますか。幻のモスクワオリンピック代表、ロサンゼルスオリンピックの金メダリスト。公式戦7度の引き分けを挟む203連勝を記録。とりわけ外国人選手に対しては116勝0敗3引き分けと無類の強さを発揮した、いまだ世界史上最強の柔道家であるという声も多いほど、圧倒的な強さを誇っていた人です。

新しい年の初めに、彼の言葉を二つ紹介します。

一つ。「謙虚に他者から学び、常に自らを磨き続ける。目標には期限を決めて全力投入し、完全燃焼する。

成功のために必要なことが、すべて詰め込まれているような言葉です。特に「目標には期限を決めて」というところがキモですね。漠然とした夢はみんな持っているけれど、期限が決まってこそ、今やるべきことが見えてくるということです。

このような具体的な目標や夢を思い描きましょう。そして、着実に前進していきましょう。

もう一つの言葉を紹介します。「『強くなればなるほど優しくなれる。』この言葉が好きです。私の体の中から優しさが滲みあふれる、そういうふうに見られるような人間になりたい、なれたらいいな、と思っています。」

どうですか。これは僕大好きです。昨年ラグビーブームが巻き起りましたが、ひょっとして通ずるものがあるのかなと思ったりもします。

ところで、今、日本でも世界でも、「自分ファースト」が蔓延しています。新春のあるテレビ番組で、現在の混迷する世界情勢を「幼児化」という言葉で説明していました。

確かに幼児・子どものように、世界中の為政者や、日本のいい大人が「私が、俺が、我が国が」と叫んでいます。「自分ファースト」です。自分のことしか考えていないような、それでいて世界を揺るがすような大事件が、年末年始にも起きていま

す。

大人の強さ、大人の優しさ、そして大人の知性が必要な時代だと感じます。でなければ、人はバラバラになってしまいます。世界はバラバラになってしまいます。君たちにはぜひ、大人の強さと優しさと知性を持った、大人になってほしいと願います。

何はともあれ、3年生には、これから2ヶ月という短い期間ですが、最後まで諦めない心で、良い結果を引き寄せてくれることを祈っています。

1, 2年生の皆さん、3学期は令和元年度の総仕上げのときです。立派な締め括りにしましょう。

今年が皆さんにとって、東京オリパラだけでなく、人生の素晴らしい節目として記憶に残る年になることを願って、3学期始業式の式辞とします。